

ワングル7期生大集合

7期 澤田 孝雄

我々ワングル7期同期生は、5期、6期の先輩や、8期のメンバーと共に、毎年8月14日にゴルフと飲み会を金沢で30年以上にわたり開催しています。今年も11名のメンバーが集まり、金沢駅の3階の飲み屋で五十余年前の夏合宿やPWの話に花を咲かせました。何年経っても話題の中心は現役時代の話です。ゴルフの方は後期高齢者世代になり、プレーをする人が減ってしまい1組4名になってしまいました。また、昨年辺りから皆の話に変化が生じ、自分の健康についての話をする人が増えてきました。ガンと診断され手術を受けたとの話も増えました。一方で就職先での仕事が評価され叙勲を受ける同期生もおりうれしい限りです。今後も集まれる同期がおる限り、続けていこうと意見が一致しているので、来年も8月14日に開催いたします。



(金沢駅3階八兆屋 道の蔵 2017.8.14)

後列左は 7期 新谷正喜 7期 干場良平 7期 澤田孝雄 7期 田丸稔 7期 四十万利之 7期 福田繁機

前列左は 7期 小野江佳美 8期 山村嘉一 5期 稲葉正巳 7期 宮本則夫 5期 影近憲一

以上11名

27年ぶりに静岡にてワングル15期会

15期 増田 富雄

平成29年10月8日(日)と9日(月)の連休2日にかけて増田の生まれ故郷かつ今居住している

静岡に15期のメンバー・奥様21名が集まり、静岡の歴史・文化・食材を楽しむ本当に楽しい思い出深い同期会となりました。それも参加いただいた皆様のご協力とワングル時代に築いた団結力の結果ではないかと自負しております。

それでは概要を説明いたします。

1. 日時：平成29年10月8日・9日
2. 宿泊場所：静岡市鷹匠町のもくせい会館
3. 歴史散策：駿府城公園・臨濟寺・静岡浅間神社・登呂遺跡他静岡市内
4. 参加メンバー：上馬康夫・敏栄夫妻、宇野潔・篤子夫妻、奥名正啓、金井澄、坂尻忠秀・知恵夫妻、鈴木良紀、祖父江直久、佐野哲雄、舟田節子、増田富雄(幹事)・敦子夫妻、松下重人、松縄宏、松林知一、間所新一・美智代夫妻、三宅毅、高村千佳子・・・以上21名(南保昭雄は仕事の関係で不参加)
5. 今回のテーマ：『第2のスタートの15期会』昭和60年に今回幹事の増田が呼び掛けてスタートした同期会が32年目に入りサラリーマンはほとんど定年退職となったことより敢えてあと32年続くようにという願いを込めて第2のスタートとしたもの。また増田が生まれ育った静岡をゆっくり味わって欲しいと思いワングルらしく歩いて回ることにしました。(1日約8km、2日間合計で15km)

行動記録

10月8日(日)

21名(幹事除きで19名)もいると静岡周辺前泊組あり、ローカル電車で来静する者、安い新幹線こだまで来る者、普通に新幹線ひかりで来る者が静岡の鰻を食べたいと言うので幹事が老舗の鰻屋を予約した人数が何と13名と半分以上が集合前に鰻を食べることとなった。まずは静岡の食材食べ歩きをスタートを切る。

13:00 集合時刻に集まったのは20名、1名不明。車での来静組は12時頃には到着し、鰻組は13時5分前に到着、あと1人の奥名が行方不明の状態。携帯電話に電話かけるも”携帯電話に繋がりません”というメッセージ!何人かで電話をかけていると繋がったため「今ど

「ここにいるか?」と聞いたところ「俺は今どこにいるのか?」との回答、「町名は分かるか?」との質問に「長沼3丁目の看板がある」との回答、「長沼ならば西に向かって歩き電車かタクシーに乗り来るように」と言う。「どっちが西かわからない」と言うので「太陽を向いて右の方向が西だ」と増田が言う。「太陽は真上だ」と言い仕方なく「近くに何かあるか?」と聞くと「交番があるが中に警官がいない」と言う…!こんな問答を繰り返すうちに電車の線路があるというので太陽を背にしその線路に沿った道を左に少し進めば静岡鉄道の長沼駅にぶつかる指示を与え、ようやく遅ればせながら奥名が合流することとなった。この珍問答事件により予定が最初から狂うスタートとなった。

14:00 全国的にも珍しい天守台発掘調査体験。兜と軍手を身に着け鋤簾(じょれん)と籠を手に持ち、いざ天守台へ!駿府城天守台は68m×60mで江戸城天守台は45m×41mと言われかなり駿府城天守台の大きいことがわかる。お宝を発見できるか?21名が並んで鋤簾を使い掘り進め坂尻他3~4人が江戸時代の瓦破片を発見。残念ながら大判・小判は発見できず。



駿府城天守台発掘調査隊

14:30 瓦等の刻印を拓本に作り1時間の発掘調査体験は終了。

15:00~16:45 駿府城内紅葉山庭園で抹茶タイム(徳川家康が好んだ本山茶)と東御門・巽櫓を見学の後、静岡県庁21階に上り駿府城公園・静岡市内を眼下に富士山・南アルプス・

駿河湾を一望した。富士山はほぼ見えたものの南アルプス残念ながら見えず。

17:00 もくせい会館に帰り風呂で汗を流した後、大宴会。静岡の食材を使った料理(静岡おでん・サクラエビのかき揚げ・アメラトマト他)とみんなの笑顔で乾杯。増田が用意したDVD(昭和61年第2回目15期会の8ミリフィルム・昭和63年第4回目15期会のVHSビデオ・平成元年第5回目15期会のVHSビデオの3本を編集まとめたもの)を約50分間上映。30年前の懐かしい映像にみんなが見入っていたこのDVDを今回のお土産とさせてもらった。その後は例のごとく幹事部屋で語らい歌い15期の絆を確認した。



後列 宇野 増田 佐野 金井 奥名 鈴木 松下
中列 三宅 祖父江 間所 坂尻 松林 上馬 松縄
前列 高村 上馬 坂尻 宇野 間所 増田 舟田

10月9(月)

7:20 朝食バイキング(しらすおろし・わさび漬け他静岡の食材)

8:30 今川義元が軍師太原雪斎に兄氏輝の菩提寺として建立させた臨濟寺まで歩く。途中、増田の母校静岡高校や坂尻の奥さんの母校静岡大学跡地(今は城北公園)を通り臨濟寺へ!氏輝・太原雪斎・中村一氏の墓は階段を上り40~50メートルのところに並んで立っており結構きつく息も弾む。

9:30 徳川家康が元服式を行ったという以上に丁度半年前の4月に天皇陛下御夫妻とスペイン国王夫妻が来静した折、稚児舞をご覧になられた静岡浅間神社まで歩く。



臨濟寺にて

10:15 もくせい会館まで歩き今度は車とタクシーで子供の頃社会科で勉強した弥生時代の登呂遺跡へ！

10:40 登呂遺跡に到着し、半分は火起こし体験、半分は赤米土器炊飯に分けて体験する予定が登呂遺跡側の段取り悪く、火起こし体験のみとなってしまうことと火起こし体験を全員ができる様に予約してあったのにできなかったこと等なかなか打合せ通りにはいかないことを痛感した。火起こし体験や竪穴式住居見学は童心に帰らせてもらえたことと思う。登呂博物館屋上から晴れていれば富士山や南アルプス・伊豆半島が360度スコープで見えるのだが曇天の為叶わず。

12:30 再びもくせい会館に戻り昼食（自然薯を使ったとろろ汁・食後には安倍川餅といったまたまた静岡の食材）。食後、松林君は東海道ウォーク四日市宿に向け、祖父江君は家庭の事情で早目に帰る。

14:30 静岡駅まであとの全員を送り解散する。

ワングル15期会イン静岡はお陰で2日間とも晴天に恵まれ暑いくらいの夏日となりました。今年の秋は天候が不安定の中、最高の2日間を与您いただき晴れ男・晴れ女たちに感謝です。

歩いて我が故郷静岡を回って歴史と文化の香りおよび地元の食材を堪能してもらったのがテーマだったため毎日1万歩以上歩かせてしまいました。かなり疲れてもう歩きたくないと思った方もいたと思いますが、勘弁願います。

僕達15期生は残念ながらこれまで何人もの仲間を失ってきました。最初はワングルに入部した

ての昭和45年新トレで桂茂樹君、昭和58年には高村栄一君を失った時に「毎年15期会を開催し、恒例行事としよう！」と昭和60年から毎年開催しております。

その間、平成2年に比田井忠篤君、平成7年に横井昭次君、平成18年に17期の宇野和子さん、平成23年には渡辺純久君を病気や事故で失いました。

そんな中で高村栄一君の奥さん千佳子さんが15期会のメンバーとなり毎回参加してもらえるのはありがたいことだと思っています。今回、比田井忠篤君の奥さん澄恵さんと横井昭次君の奥さん裕子さんに15期会への参加を呼びかけましたところスケジュール等の都合で参加できませんでしたが、今後も15期会のメンバーとして声かけして行って欲しいと思います。

昭和60年の第1回目の参加者は15期メンバーと奥さんの参加で始まり、次からは奥さんに加え子供達も参加するようになり、平成2~3年頃にはメンバー・奥さん・子供達総勢50名以上の大所帯となったことが懐かしい思い出です。子供達が段々と成長してくると今度は人数が減少し今の人数に落ち着きました。そんな懐かしい映像を今回DVDにして渡すことができたのは幹事として時間はかなりかかりましたがやってよかったと満足しております。

次回の幹事は上馬・松林両君に決まり、その次も祖父江君で決まりました。今回が昭和60年から数えて33回目となることより当面35回目まで決定しております。

（途中で年2回開催もありましたので回数は不明確ですが…！）

かけがえのない15期の仲間との出会いに感謝すると同時にいつまでもこの会が続いていくように願って筆を下ろします。

次回を楽しみに！また会いましょう！

24期 坪井陽典君を偲ぶ会

24期 酒井 智治

昨年10月、私たち同期の坪井陽典君が急逝されました。あまりにも突然のことで、皆で葬送す

ることも叶わず、漸く4月になって金沢にたくさんのKUWVの仲間が集まり彼を弔うことができました。

4月22日、場所は金沢駅から程近い料亭『喜乃屋』。私達24期の同窓のみならず、先輩後輩諸氏幅広く22期から26期まで、27名の皆さんに集まっていただきました。



在りし日の坪井陽典君 2009年 犬山にて

坪井君は、ワンゲル現役時代には熱心に山に取り組む一方、論客としてP審副議長の立場から、あるいは雑用に至るまで、部の運営に活躍してくれました。(天気図とエスケープルートにはうるさかったなあ。雑用は「めんどくせえめんどくせえ」と言いながら結構楽しんでいたような?) 卒業後は、法曹界を志し司法試験に挑戦、苦節20余年、初志貫徹し名古屋に法律事務所を構えるに至りました。苦勞の時代も成功してからもずっと最期まで、母ひとり子ひとりの生活において猛烈に努力し、責務に邁進しながらも我々仲間時間に割き、明るく情厚く接してくれました。数年前には自ら東海地区のOB会を旗揚げするなど、恩

と絆を忘れぬ世話役でもありました。

偲ぶ会当日、18時集合。

お互いに何十年振りかという、ちょっと気恥ずかしいくらいの雰囲気皆が集まり始めました。

全員が揃い、坪井君に黙祷と献杯を捧げました。その後酒を酌み交わしつつ、ひとりずつ参加者全員が坪井君との思い出話を披露しました。



偲ぶ会 喜乃屋にて

思い出話で語られるのは、彼の圧倒的とも言える気配り気遣いの数々。

「いつも近親者のように話を聞いてくれた」「仕事のトラブル・家族の災難・旅行先でのアクシデントなど、解決に至るまで世話してもらった」「どこで聞きつけたか突然電話が来て、健康、子供のことで気遣いしてくれた」

・・・などなど。彼らしいな、と思いつつ可笑しかったり、ちょっとしんみりしたり。。

23期の皆さんは、坪井が発起人で11月に金沢で集まることになっていたそうです。もっと早く集まれば、と悔やんでいました。

こんなことを、坪井自身は『気恥ずかしいからやめてくれよ』なんて思いながら聞いていたんだろうと思います。

集まった皆さんは金大卒業後30年以上、社会人としてそろそろ一段落を迎える世代です。仕事と家庭で余裕の無い時代を過ぎ、そろそろ仲間が恋しくなる頃、奇しくもこんなことで一同に出会えたのも坪井のお陰。生前から彼も願っていたことなのでしょう。

酒と思い出に浸って坪井に感謝しつつ、そして旧交を温めつつ、また皆で金沢で再会しよう、と、それぞれが声を掛け合いながら散会しました。



偲ぶ会 二次会 かじ亭にて

・・・・・・・・坪井陽典君に合掌・・・・・・・・

当日各地からお集まりいただいた先輩、後輩、同期諸氏、ありがとうございます。

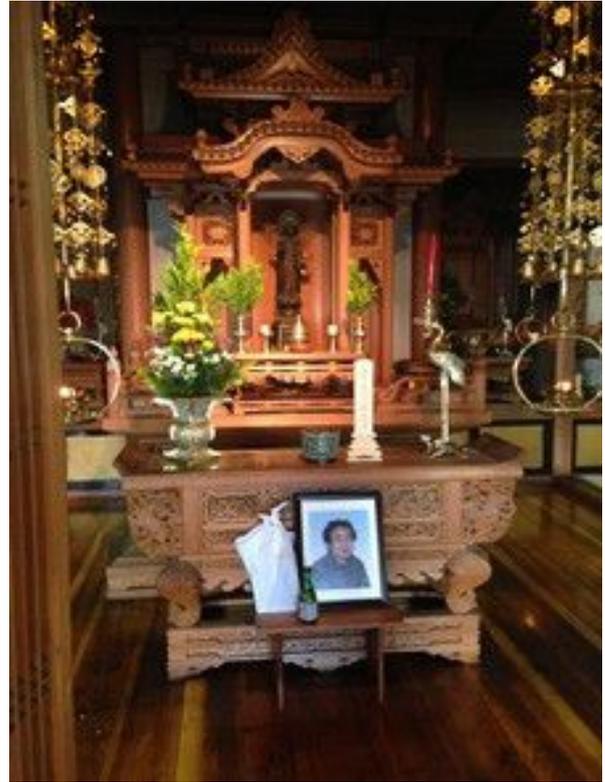
また、特に23期中川様はじめ先輩の皆さんには、訃報に接してから何かとお世話になりました。感謝申し上げます。

追記

24期 磯見 晃

11月3日、坪井君の一周忌に善福寺へお参りに行ってまいりました。

坪井君の法律事務所で事務を執っていただいていた堀江様と奥様、東海支部の大先輩の皆様もご同行いただき、24期と26期のメンバーを合わせて総勢15名でのお参りとなりました。ご住職にお経をあげていただき、ご焼香させていただきました。



善福寺の御仏壇

お参りの後、お寺の近くにある坪井君の旧宅に立ち寄り、学生の頃に泊めてもらったりして、お母様にお世話になった時の話などをしながらお寺を後にしました。



坪井君の旧宅

来年3月には、ご両親の眠るお墓に納骨の予定と伺いました。次は、お墓へお参りしたいと思います。